

長特研だより

第101号

発行 長崎県特別支援教育研究会
事務局 長崎県立川棚特別支援学校
編集局 長崎県立川棚特別支援学校
発行日 平成28年6月13日

会長あいさつ

長崎県特別支援教育研究会会長
長崎県立川棚特別支援学校長
東 真由美

平成28年度が始まり二か月がたちました。各学校では、子供たちの元気な声や笑顔とともに、活発な学習活動が展開されているものと思います。

本研究会の昨年度の会員数は859名で、特別支援教育への関心が益々高まっていると感じます。

役員は、特別支援学校の関係者をはじめ、関係地区の小学校教育会特別支援教育部長や中学校教育会特別支援教育部会長等、組織としても充実が図られ、今後連携した取組ができるものと思っています。

今年4月、「障害者差別解消法」の施行に伴い、差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供が義務づけられました。学校は次の点についての体制づくり（基礎的環境整備）に努めることが重要です。

(1) 相談窓口の明確化

本人・保護者に対し、合理的配慮の提供について申し出るための相談窓口を明確にする。

(2) 建設的対話による合意形成

本人の障害の状態や教育的ニーズに関する実態把握を行い、合理的配慮の内容が条約の目的に合致するかどうか校内委員会等で検討する。過重な負担等に当たると判断した場合、本人・保護者に理由を説明し、理解を得るとともに、他の実現可能な「代替措置」を検討・提案するなど合意形成のための建設的な対話の場を設けることが大切。

(3) 個別の教育支援計画への明記

本人の発達の段階を考慮しつつ合意形成を図った上で提供される合理的配慮について、個別の教育支援計画に明記する。

(4) 定期的な評価と柔軟な見直し

合理的配慮は、子供が十分な教育が受けられるために提供できているかという観点から、個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づき、実行した結果を評価し定期的に見直す等、PDCAサイクルの確立が重要。

(5) 合理的配慮の引継ぎ

入学・進学・卒業等の移行期においても途切れることのない一貫した支援をするために、学校間や関係機関も含めた情報交換等により引き継ぎを行うことが必要。その際、保護者と連携し、プライバシーに配慮する必要がある。

このように、特別支援教育に対するニーズが高まっている中、各学校では、児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を通して、自分らしく生き生きと活動する子どもの育成や将来、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していくために必要な知識・技能等の習得の支援等が必要だと思われます。

事務局として、昨今の課題を見極めながら、夏季研究大会や秋季研修会などを企画・運営させていただき、会員の皆様が情報交換しながらそれぞれの専門性を高めていただけるよう努力して参ります。二年間、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ

<長特研のホームページについて>

今年度から事務局校のホームページ内に長特研のホームページを立ち上げました。加入案内、研究大会・秋季研修会の案内、九特連・全特連関係の案内を行います。また、「長特研だより」は、今年度から第102号以降は、ホームページへの掲載のみとさせていただきます。事務費削減や本会の理解・啓発を目的に役員会で検討した結果です。会員の皆様、どうぞ御了承ください。

平成28年度役員紹介

小・中学校の先生方への啓発や研究大会での発表を円滑に進めるために、今年度発表担当の島原地区及び次年度発表担当の佐世保地区から小・中学校理事として参加していただいています。

役職名	所属・職名・氏名	
会長	川棚特別支援学校長	東 真由美
副会長	島原特別支援学校長	穴山 司
	虹の原特別支援学校長	池田 英俊
	長崎市立高島小学校長	橋本 郁朗
	長崎市立三重中学校長	徳永 哲郎
理事	南島原市立有馬小学校長	小嶺 嘉太郎
	雲仙市立鶴田小学校長	江川 儀平
	佐世保市立皆瀬小学校長	山崎 邦裕
	佐世保市立江迎中学校長	澤田 忠義
	佐世保特別支援学校副校長	川副 秀夫
	島原特別支援学校教頭	村川 佳恵
	虹の原特別支援学校教頭	平田 昭輔
	虹の原特別支援学校吉岐分校教頭	伊藤 彰浩
	鶴南特別支援学校教頭	高谷 康文
	鶴南特別支援学校時津分校教頭	永石 哲郎
	鶴南特別支援学校五島分校教頭	戸羽 義文
	希望が丘高等特別支援学校教頭	早田 正一
長崎大学教育学部附属特別支援学校教頭	山田 勝大	
幹事	佐世保特別支援学校教諭	光武 亜貴
●//	島原特別支援学校教諭	細田 理恵子
●//	虹の原特別支援学校教諭	近藤 浩一
//	鶴南特別支援学校教諭	加末 貴彦
//	希望が丘高等特別支援学校教諭	堀 大輔
//	長崎大学教育学部附属特別支援学校主幹教諭	今里 順一
事務局長	川棚特別支援学校教頭	菅 昌徳
事務局長	川棚特別支援学校主幹教諭	緒方 敏勝
会計	川棚特別支援学校主幹教諭	岩永 真紀子
事務局長	川棚特別支援学校教諭	森 信博

※ ●は会計監査を兼任する。

平成28年度の主な事業

今年も多くの先生方にご参加いただき、実りある研修の機会になればと願っています。

第27回長崎県特別支援教育研究会 総会及び研究大会	期日：平成28年8月3日(水) 場所：諫早文化会館 県立諫早商業高等学校 講師：鳴門教育大学教授 井上 とも子 先生
平成28年度長崎県特別支援教育研究会 秋季研修会	期日：平成28年10月28日 場所：東彼杵町総合会館 講師：なごみの杜代表理事 土田 玲子 先生
平成28年度第55回 全日本特別支援教育 研究連盟全国大会 「青森大会」	期日：平成28年10月27日、28日 発表者：佐世保特別支援学校長 西岡 哲男 先生
平成28年度第50回 九州地区特別支援教育 連盟研究大会 「佐賀大会」	期日：平成28年11月17日、18日 発表者：南島原市立蒲河小学校 教諭 山下 和美 先生 長崎大学教育学部附属特別支援学校 教諭 坂田 信吾 先生

～川棚特別支援学校からのお知らせ～

川棚特別支援学校は、平成29年4月に高等部を開校します。本校は、昭和38年に長崎県立光が丘学園内の分校から始まり、昭和48年4月に長崎県立川棚養護学校として開校しました。現在は、自宅通学生や隣接する第四長崎慈光園(あすなろ)からの通学生など小・中学部合わせて36名の児童生徒が在籍しています。

高等部が設置され、小中高一貫して学ぶことができることで、小学部段階から中学部や高等部の先輩たちに憧れを抱きながら、日々、自分の役割を果たしていく、児童生徒一人一人のキャリア発達を育む学習環境を整えていくことができると、職員一同、期待に胸を膨らませています。